



平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月13日

上場会社名 株式会社ダイセキ

上場取引所 東 名

コード番号 9793 URL <http://www.daiseki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 博之

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長

(氏名) 柱 秀貴

TEL 052-611-6322

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	23,426	7.4	4,294	16.3	4,398	16.3	2,510	32.9
22年2月期第3四半期	21,794	—	3,692	—	3,778	—	1,887	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	55.73	—
22年2月期第3四半期	41.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	54,193	45,531	80.0	963.09
22年2月期	50,383	43,950	82.9	927.31

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 43,380百万円 22年2月期 41,769百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	9.50	—	9.50	19.00
23年2月期	—	9.50	—		
23年2月期 (予想)				10.50	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,250	10.8	5,580	14.6	5,680	13.9	3,150	23.6	69.93

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有
新規 1社（社名 システム機工株式会社）、除外 1社（社名
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年2月期3Q	45,124,954株	22年2月期	45,124,954株
② 期末自己株式数	23年2月期3Q	82,489株	22年2月期	82,029株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年2月期3Q	45,042,630株	22年2月期3Q	45,043,777株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な新興国向輸出や企業収益の回復に支えられて引続き回復局面にありました。しかしながら、高止まりする円相場の影響やエコカー補助金等景気刺激策の終了により、国内鉱工業生産の回復は緩やかなものになり、秋口以降の回復状況は足踏み状況となってまいりました。

当社グループの主力事業である産業廃棄物中間処理・リサイクル事業におきましては、国内製造業の生産状況が回復するのに伴い、当第3四半期連結会計期間においても引続き処理受託量が回復してまいりました。しかしながら、顧客であります国内メーカーの先行きに対する見通しは総じて慎重であり、設備投資や工場メンテナンス等の実施状況の回復は極めて緩やかな状況で推移してまいりました。また地域別に見ると、全地域において前年同期比プラスで推移し、業績の回復は顕著ではありますが、自動車産業の影響が強い中部地区、工場集積度の低い北陸地区における回復スピードは他の地域と比べ若干遅い状況が続いております。

一方、当社グループ企業である土壌汚染の調査・分析・処理事業を行う株式会社ダイセキ環境ソリューションにおきましては、国内の不動産業及び建設業、並びに製造業の設備投資の顕著な回復が見られず、引続き厳しい外部環境が続きました。しかしながら土壌汚染調査案件に関しては、第1四半期から第3四半期まで件数・金額とも前年実績を上回って推移しており、かつ土壌処理案件の引き合いも関東地区を中心に増加傾向にある点を考慮すれば、今後緩やかに業績の回復過程に入っていくことが予想されます。

また、鉛リサイクル事業を行う株式会社ダイセキMCRにおきましては、鉛の国際価格が本年6月を底として上昇に転じ、その影響を受け第3四半期は第2四半期と比較し増益基調となりました。なお、同社の稼働率は引き続きほぼ100%で推移しており、鉛の市場価格に業績が大きく左右される状況が続いております。

なお、当第3四半期連結会計期間より大型タンク洗浄を事業の柱とするシステム機工株式会社が連結対象となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高23,426百万円（前年同四半期比7.4%増）、経常利益4,398百万円（同16.3%増）、四半期純利益2,510百万円（同32.9%増）と増収増益を確保いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は54,193百万円と前連結会計年度末に比べ3,810百万円増加いたしました。これは資産の部におきましては、主に現金及び預金が1,203百万円、のれんが981百万円それぞれ増加したことによります。負債の部は8,662百万円と前連結会計年度末に比べ2,229百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が960百万円、未払法人税等が404百万円それぞれ増加したことによります。純資産は45,531百万円と前連結会計年度末に比べ1,580百万円増加いたしました。これは主に利益獲得により利益剰余金が1,654百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動による資金の獲得4,202百万円、投資活動による資金の支出1,940百万円、財務活動による資金の支出1,186百万円により、前連結会計年度末に比べ1,075百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には18,079百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に法人税等の支払額1,765百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益4,378百万円、減価償却費1,184百万円等により、総額では4,202百万円（前年同四半期比43.9%増）の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の売却による収入86百万円があったものの、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,160百万円等により、総額では1,940百万円（同52.6%減）の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額820百万円等により、総額では1,186百万円（同6.4%減）の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年4月14日に公表しました連結業績予想から修正はおこなっておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

平成22年9月1日付けでシステム機工株式会社の全株式を取得したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項ありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第3四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項ありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,219	17,015
受取手形及び売掛金	6,219	5,279
たな卸資産	1,316	1,145
繰延税金資産	368	165
その他	619	294
貸倒引当金	△18	△14
流動資産合計	26,724	23,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,444	4,586
機械装置及び運搬具(純額)	2,050	2,374
土地	9,318	9,298
建設仮勘定	270	112
その他(純額)	110	132
有形固定資産合計	16,194	16,504
無形固定資産		
のれん	2,310	1,329
その他	287	290
無形固定資産合計	2,598	1,619
投資その他の資産		
投資有価証券	5,362	5,359
繰延税金資産	665	545
その他	2,670	2,485
貸倒引当金	△22	△16
投資その他の資産合計	8,675	8,373
固定資産合計	27,468	26,497
資産合計	54,193	50,383

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,796	1,835
短期借入金	1,120	876
未払法人税等	1,113	709
賞与引当金	38	216
その他	2,235	1,379
流動負債合計	7,303	5,017
固定負債		
長期借入金	395	523
退職給付引当金	715	666
役員退職慰労引当金	239	216
その他	7	9
固定負債合計	1,358	1,415
負債合計	8,662	6,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,382	6,382
資本剰余金	7,051	7,051
利益剰余金	29,927	28,273
自己株式	△126	△125
株主資本合計	43,235	41,581
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	145	187
評価・換算差額等合計	145	187
少数株主持分	2,150	2,181
純資産合計	45,531	43,950
負債純資産合計	54,193	50,383

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	21,794	23,426
売上原価	15,107	15,991
売上総利益	6,686	7,434
販売費及び一般管理費	2,994	3,140
営業利益	3,692	4,294
営業外収益		
受取利息	93	99
受取配当金	6	6
その他	32	23
営業外収益合計	132	129
営業外費用		
支払利息	11	9
固定資産賃貸費用	34	15
その他	0	0
営業外費用合計	45	25
経常利益	3,778	4,398
特別利益		
固定資産売却益	1	1
その他	—	0
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	1	17
投資有価証券評価損	12	3
たな卸資産評価損	178	—
特別損失合計	192	22
税金等調整前四半期純利益	3,587	4,378
法人税、住民税及び事業税	1,758	1,974
法人税等調整額	△219	△116
法人税等合計	1,538	1,858
少数株主利益	160	9
四半期純利益	1,887	2,510

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,587	4,378
減価償却費	1,517	1,184
のれん償却額	146	165
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△178	△188
退職給付引当金の増減額(△は減少)	103	△17
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△17	12
受取利息及び受取配当金	△99	△105
支払利息	11	9
固定資産売却損益(△は益)	△1	△0
固定資産除却損	1	17
投資有価証券評価損益(△は益)	12	3
売上債権の増減額(△は増加)	△120	△521
たな卸資産の増減額(△は増加)	589	88
仕入債務の増減額(△は減少)	△74	483
未払金の増減額(△は減少)	425	△67
未払消費税等の増減額(△は減少)	△171	76
その他	△60	353
小計	5,668	5,876
利息及び配当金の受取額	85	100
利息の支払額	△11	△9
法人税等の支払額	△2,823	△1,765
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,919	4,202
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△28	△131
定期預金の払戻による収入	25	22
投資有価証券の取得による支出	△2,058	△89
投資有価証券の売却による収入	—	1
保険積立金の積立による支出	△63	△57
保険積立金の解約による収入	5	2
有形固定資産の取得による支出	△1,261	△478
有形固定資産の売却による収入	11	86
無形固定資産の取得による支出	△4	△8
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,160
子会社株式の取得による支出	△726	—
長期貸付けによる支出	—	△151
その他	0	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,100	△1,940

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△250	221
長期借入れによる収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△311	△554
配当金の支払額	△863	△820
少数株主への配当金の支払額	△41	△32
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△2	△1
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,267	△1,186
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,449	1,075
現金及び現金同等物の期首残高	18,427	17,004
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,978	18,079

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項ありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項ありません。